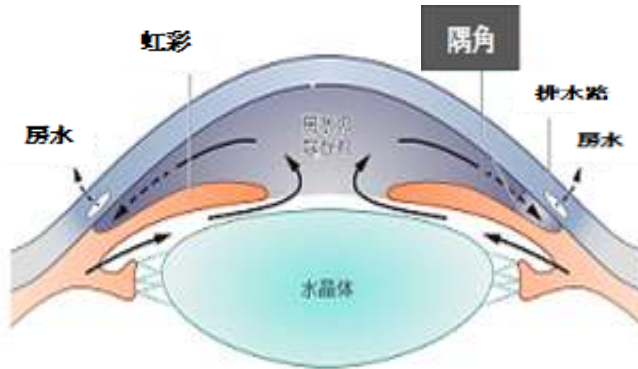


こわい緑内障 その1

定期健診は受けていますか？ 緑内障は「見えにくい」「視力が落ちた」など、見え方がおかしいと気付いたときにはかなり進行してしまっていることも少なくありません。そんな緑内障について2回にわたりご説明します。

緑内障とは・・・？



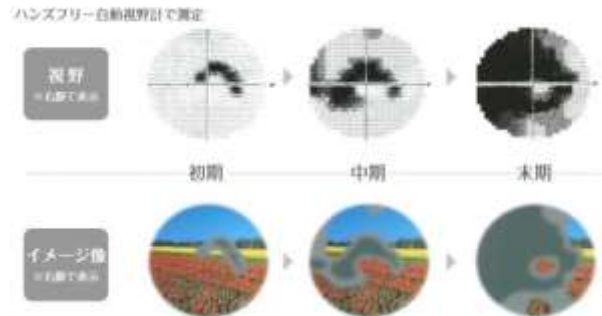
緑内障とは、眼圧が高い状態により視神経に異常が起こり、視野狭窄が引き起こされる病気です。何らかの原因によって眼球の中を循環する房水の流れが妨げられることにより眼圧は上昇します。このメカニズムの違いにより緑内障は大きく二つのタイプに分けられます。隅角の閉塞により急激な眼

圧上昇をきたし、眼痛・頭痛・嘔気が起こる急性緑内障⇨閉塞隅角緑内障と、隅角は開いているものの房水の流出自体がよくない慢性緑内障⇨開放隅角緑内障です。

症状は・・・？

閉塞隅角緑内障の急性発作では、眼の充血、眼痛、瞳孔の散大、視力低下や頭痛、嘔気が起こるので症状がはっきりしています。この場合、すぐに眼科医の診察を受けてください。放置すると短期間で失明する危険があります。

慢性に進行する開放隅角緑内障では、眼圧の上昇による自覚症状はほとんど現れません。病状が進行しても視力が保たれることが多いため、視野狭窄・視力低下を自覚した段階で医療機関を受診し、既に失明寸前の状態で緑内障と初めて診断されるケースも散見されます。



検査・・・

眼科で一般的に行う視力・眼圧・眼底の検査に加えて以下の様な検査を行います。

視野検査：眼圧の数値に係わらず視野狭窄が進行する場合がありますので、定期的に行うことが必要です。

OCT（光干渉断層計）：網膜の断面を光学的に撮影し、視野にかかわる層の厚みを分析することで、視野に異常が出る前のごく早期に緑内障の診断が可能になりました。

隅角検査：開放隅角か閉塞隅角かを調べます。



自動視野計

今回は、緑内障の治療についてご紹介します。